

戦後 80 周年 高校生が考える「平和と対話」

例

開催要項

目的

ユネスコ憲章では、「平和は人々の心の中から始まる」とし、教育を通じた対話の促進が平和の文化を育む鍵であると提言されている。特に、「異なる文化や価値観に対する理解と寛容」を育てる教育が、暴力や対立を回避し、持続可能な平和を築く基盤になると記している。2022 年の生徒指導提要（文部科学省）では、「公正公平な態度で、いじめや差別、偏見のない社会の実現に努めること」が記されている。

しかし、沖縄県の国公立小・中・高・特別支援学校におけるいじめの認知件数は 13,838 件、児童生徒 1,000 人当たりの認知件数は 63.8 件と多様性の尊重や他者理解には課題があり、学校生活を安心して過ごすために、身近な他者とのかわり方について見つめ直す機会が求められる。

そこで、戦後 80 周年を節目に、高校生が主体的に「平和と対話」について学ぶフォーラムを開催し、それを踏まえて、高校生が未来志向で「平和を希求する沖縄のこころ」を考え、広く発信していく機会とする。

（出典：①ユネスコ憲章②文部科学省 生徒指導提要③沖縄県教育委員会 令和 5 年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

開催日及び会場等

開催日程：令和 7 年 10 月 22 日（水） 13:30～17:00（受付 13:00～13:30）

会場：アイム・ユニバースてだこホール 大ホール

入場料：無料

日時・場所は予約済みです。

参加者等

参加者：中高生、PTA、教育関係者、健全育成関係機関・団体等 他

参加者数：600 名程度

主催・共催等（下線以外は予定）

主催：沖縄県、沖縄県警察、沖縄県教育委員会

共催：浦添市教育委員会

後援（予定）：一般社団法人沖縄県 PTA 連合会、沖縄県高等学校 PTA 連合会、沖縄県小学校長会
沖縄県中学校長会、沖縄県高等学校長協会、沖縄県高等学校生徒指導研究会

本課から、共催・後援の依頼をします。

日程及び内容

日程	内容
13:30～13:50 (20 分)	開会行事 開会の言葉：沖縄県教育委員会教育長 主催者挨拶：沖縄県知事、沖縄県警察本部長
13:50～14:50 (60 分)	第 1 部 基調講演 演題：「対話を通じた平和への取り組み」（仮称） 講師：〇〇〇〇
14:50～15:00	休憩
15:00～15:50 (50 分)	第 2 部 プレゼンテーション テーマ：「対話を大切にしよう」（仮称） プレゼンター：高校生が考える「ちゅらマナー」プロジェクトメンバー
15:50～16:00	休憩
16:00～16:50 (50 分)	第 3 部 パネルディスカッション テーマ：「対話について考え、学校生活を見つめなおそう」（仮称） コーディネーター：□□□□ パネリスト：△△△△ PTA 代表、県警代表、高校生、中学生、教育関係者 等
16:50～17:00	閉会行事 閉会の言葉：沖縄県高等学校 PTA 連合会会長

演題内容・講師等は委託業者と調整します。